

最近電報

【十七日南京發】 馮玉祥軍は湖北方に進出し...

【十七日東京發】 現内閣は組閣以來府縣議員の...

【十七日巴里發】 前首相レイモン・ボアンカレ...

【十九日アルブフォア發】 當國(瑞典)カントンシウリ...

【二十日倫敦發】 英國銀行は過般より金貨の外國...

【二十日倫敦發】 橫濱正金銀行は對外爲替相場...

【二十日倫敦發】 若槻全權財部全權右近中將...

【二十日東京發】 海軍側の軍縮論者は東京からは...

【二十日羅馬發】 皇太子殿下御婚儀の準備はキ...

世論の趨勢に鑑みて 減俸の事取止...

マラリヤ 其他の熱病を 十五日間に 全治する

小供に水薬 ESANOFELINA

【十四日東京發】 世論の趨勢に鑑み減俸案は之...

【十四日東京發】 軍縮會議全權...

【十四日東京發】 若槻全權財部全權右近中將...

【十四日東京發】 海軍側の軍縮論者は東京からは...

右近中將以下海軍大臣山本磯...

勞して益なし 瘠地に汗するは愚の骨髄...

閃光ニュース 何事にも世界一を誇る米國...

市民權獲得 先般小生等取扱に市民權獲...

日伯社 刷印を注文するなら...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

計時 エレクション 時計販賣並に...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

Dr. T. Watanabe R. Tolentino de Figueiras 39...

Pharmacia Tabatinguera R. Tabatinguera, 2...

通關手續取扱事務所 主任 小淵友市...

日伯社 刷印を注文するなら...

市民權獲得 先般小生等取扱に市民權獲...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

計時 エレクション 時計販賣並に...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

Dr. T. Watanabe R. Tolentino de Figueiras 39...

Pharmacia Tabatinguera R. Tabatinguera, 2...

通關手續取扱事務所 主任 小淵友市...

日伯社 刷印を注文するなら...

市民權獲得 先般小生等取扱に市民權獲...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

計時 エレクション 時計販賣並に...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

CASA AOKI LINS 貨雜外内 店商木青...

CASA RÊA Fogoão Paulista R. Xavier de Toledo, 29...

鶴の家 料理 御 料理 御...

武田商店 運農雜貨販賣...

子葉 防迫菓子店...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

計時 エレクション 時計販賣並に...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

Terras em Paruahyba Dr. Labieno da Costa Machado...

貨地!! バタの産地として名高いコチアの近く...

鶴の家 料理 御 料理 御...

武田商店 運農雜貨販賣...

子葉 防迫菓子店...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

計時 エレクション 時計販賣並に...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

Dispensario de Santos R. Tolentino de Figueiras, 139...

移轉廣告 サントス診療所...

子葉 防迫菓子店...

武田商店 運農雜貨販賣...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

計時 エレクション 時計販賣並に...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

社會式株船商阪大 日本より...

早くて確實な 優秀の大型客船...

子葉 防迫菓子店...

武田商店 運農雜貨販賣...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

計時 エレクション 時計販賣並に...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

Kaigai Kogyo Kaisha REGISTRO SÃO PAULO...

邦人最初の代理店

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

計時 エレクション 時計販賣並に...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

計時 エレクション 時計販賣並に...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...

求 人 サンパウロから三〇キロ離れ...



NANCY CA ROLL

文章に例へるならコント、音楽ならアレグロ、花なら赤い草にニイツとは、さむさいク...

小作人の子

小作人の善作の子が、あばら家で泣いて居る。通りから一目で見える...

みだれ箱

何か一方が云ひ出せば、それに対しての一方が妙に意固地になつて、何かしら理窟を...

緑の室

鳥は鳥でも名の無き鳥上りも来て啼く庭の木に。人は人でも...

緒顔の農女

うつ向く時は、緒顔の農女は私であつた。考へて居るのは私であつた...

産れたての「べびいすたあ」ナンシー・キアローは、ついでこの間道はウインタア・ガデー...

産れたての「べびいすたあ」ナンシー・キアローは、ついでこの間道はウインタア・ガデー...

産れたての「べびいすたあ」ナンシー・キアローは、ついでこの間道はウインタア・ガデー...

DR. K. DAIAN MEDICO Araçatuba 八喜庵大

Dr. Arthur de Santis RUA XAVIER DE TOLEDO, 44

Dr. A. SAITO MEDICO Rua da Inconfidencia, 6-35

Dr. Minio Golinho dos Santos

旅館運送業 白岩甚造 岡野爲松

HOTEL CARLTON Rua Libero Badaró 26-1

MARCHI & CIA. Rua Paula Sousa, 54 - S. Paulo

SJA Cia Productos Nippo-Brasileira RUA DO COMERCIO N. 2

餅 お 新春の必需品は防虫菓子

伊勢屋 御旅館並御料理

成功館 古謝将義

Hotel S. Paulo

CASA JAPONEZA GUARANTAN

M. HARADA ENGENHEIRO

NAKAI & FILHOS

Garage Congresso

念紀年週十業開 し出賣大恩謝

新らしい店で買よい店

日本品商 中矢商店

義主賣多利薄的仕奉

官吏減俸案で閣議可決す

去月二十五日閣議は突然「官吏減俸案」を午前四時可決した。直末をつけるために頻りに閣議を急がせて居るが...

参加の意圖

四題目より成る。第一、世界何れの國にも脅威を與へず平和を受けぬ海軍力を持つ...

早大勝つ

数々の見物の熱心さ。全日本選手権の最大興味となつて居る早稲田大学の野球部...

物價の調査

日本銀行が東京市内十五種にわたる小賣店の物價調査をした。所分四厘方前より高い事が判明した...

四法案

來議案に提案。政府は先程から社會政策方面の立法につき審議を進めて居たが...

外國の富豪か

一等車を借切つた注文。車代が一萬八千圓也。エジプトの富豪ホーン...

世帯百態

市岡の運手殺し。平野の殺人。井上巡査部長殺し。遊女と墮胎...

治外法權撤廢

日米兩國主張は一致。治外法權撤廢問題が兎も角支那側の反省により合法的に解決...

争覇戦

海運界に現はる。三井物産船部は現在約十八万トン三十二隻の船舶を擁して居る...

警視廳の横やり

先が我が國鐵道省へソサイエツト政府より同國駐日大使を介して...

羅シアの悲劇

先が我が國鐵道省へソサイエツト政府より同國駐日大使を介して...

MARZENARIA DE NAOJIRO TAMAKI 業築建に並賣販造製具家 場工具家置玉 耶次直置玉

Regulador Suissa Largo da Sé 94-c S. Paulo 時計

海外興業會社 伯國支店 聖州義塾

サンパウロ教會 日曜學校午後四時 大人集會午後八時

COLLEGIUM CARLOS JACOBI S. FRANCISCO XAVIER 園學コスシラフ聖

BAR KITISE RUA 7 DE SETEMBRO, 2 キチセ

ZERRENER, BÜLOW & CIA SECCAO TECHNICA 製氷機、ポンプ、マンテイ

理想的の安住地 日本人植民地事務所 主任 松尾龜吉

理想的の安住地 日本人植民地事務所 主任 松尾龜吉

Papelaria Sul da Sé V. JOÃO BARUFFALDI LARGO S. FRANCISCO NO. 5-A

Adubos Fortuna RUA LIBERO BADARÓ NO. 455 S. Paulo 化學肥料販賣

CHEVROLET OTTO PENTEADO & CIA. Rua D. José de Barros, 18 - - São Paulo

シエプロレー號附屬品一切 長期月賦販賣も致します

KALKMANN IRMÃOS PETERS & LTD. Rua das Flores, 46 - Caixa, 1979 SÃO PAULO

Insecticidas e Fungicidas "I G" 青枯病根絶されん ウスプルン

珈琲問題に關する 各地の會合

サンマヌエル
去る十四日耕主會議が催され、次は決定を見た。
除草費 國內全體に一例づつの間作を許した場合は二〇〇—二二〇ミル、間作を一例おきにした場合は二五〇—二七〇ミル、國內でなく他に間作地を興へた場合は三〇〇—三三〇ミル、全然間作を許さぬ場合は三五〇ミル、日給 四ミル、採集費 一〇—二〇リット、カマブーダ賃 一六ミル半、カムビーナス
去る十六日リント劇場に於てかねてから噂のあつた耕主會議が、如何にして今後珈琲園を經營して行くかを議題に催された意見を発表する者は十分間以内と制限されて種々討論の結果、除草費は二割五分乃至五割まで各耕地により適宜に低減、日給は二乃至三割減、採集費は不變と決定を見た。猶委員を設けて農業保護局に對し、その由を通じて農業者と同時に許可を仰ぐとの事である。

ボア・エス・ベランサ
先々週の耕主會議で決定。除草費 間作を許す場合は現在の四割減。但し三〇〇ミルを下らない事。間作を許す場合は二割五分乃至三割減。採集費 一〇—二〇リットに對し二ミル—一〇リットにカマブーダ賃 月給一五〇—一七〇ミル。
サンタ・リタ
去る日曜日に耕主が集つて會議を催し、次の様に決議したがその事項を近くの耕主、農業聯盟、地方協會等に通知した。

ブラジル農業 協會にて

去る十六日ネネソン・ダグ氏は同協會員に對し、目下極度の不振状態にある珈琲の振興策として、一場の演説を試みる場所があつた。即ちそれによつて、不況に陥つた原因に二つあり、第一は取引賣捌方法の不適當、第二は金融能力の不足と分つた。第一の解決は北米が凡てに協力してやる如く組織だつた分配が必要であり、猶北米に交渉して輸入税の低減をみるやうな了解を得る事が肝要である。そして、北米は伯國珈琲の消費者でなく實捌人乃至分配人であつて、如何にしたら安値に買入るかが彼等の問題であるから、我々はそれに對して薄利多賣主義を實行しなければならぬと極言した。第二の問題は關しては銀行、調節局の制度を改正し、珈琲を低當とする證券の發行、調節局の收入は一部を株券として納入者に分配、中央銀行の設置等を説いて居た。本二十一日、その會議は引き續き催される豫定である。

上陸者の 羽織の姿

去る十三日より二日連れて郵船の神奈川丸がサンタスへ入港した。新米同胞は 家族移民 四九三名 夫婦移民 四九三名 単獨移民 四九三名 呼寄移民 四九四名 合計 一九九三名
で直ちに收容所へ入つたが、十三日に着いたラブララ丸の移民は既に大半が南洋と大した混雜もなかつた。一移民は語る「國際日本協會から觀察に来たとか云ふ青桑に鹽の吉永哲文氏は上陸の時に羽織、袴の姿も凛々しく中々大した勢ひでした。私は連は神戸から入つて、教へられて来て、女が髪を結つてゐるのか、と笑ふブラジル人だと思つてゐたのに随分元氣な人だと思つた」と。又移民出迎の土主人は、「同じ國際日本協會から来た人でも、この前の今村とか云ふ人は同航の船中から尊敬された様ですが、今度の人はなんか奇を、ふいふ恥さらしです。明治の初年に日本が海外へ派遣した使節やあるまいし、二十世紀の東洋人はもう少し頭がいい筈です。いつその事ジョン・デーも結つて大刀をさしたら面白いやうに……」と迷惑するの日本人よりも在伯の同胞全部です」と苦々しく語つて居た。

不景氣の悲哀

元第二モンソン植民地に住んで居た福島縣人山田末吉氏は先頃そのフアペンダを外人に二百金六十コントスを受取るとして、昨今の不景氣でその外人も行方不明の程に至り無條件でフアペンダを引取つて呉れと嘆願して来た由、契約は違約の場合八十コントスのムルタが課せられてゐると。

腸チブス蔓延

ノロ線アラスター、驛奥に入つて居る邦人の間に、最近腸チブス患者が續出し、罹病者既に七名を數へ、逐次蔓延の様相である。同地に開業中の邦醫大庭氏の言によれば「どうも新しく来た人達に多い様です。何しろ馴れない氣候に悪い水なので、それには食物の注意が足りないで困ります。私の取扱ふ患者は内外人共に多

瀧澤氏の追悼會

故瀧澤仁三郎氏の面影を偲ぶ追悼會は、生前の知己諸友の肝入りで、去る十七日午後七時半

Bromberg & Cia.

SECCÃO AGRICOLA
SÃO PAULO — RUA FLORENCIO DE ABREU, 67 — CAIXA POSTAL, 756

新農年への準備は

アライド レベルシベル Rud. Sack. U. W. 5

グラデーデ デンテ Rul. Sack. E. E. 2

(機 種 収 芋)

獨逸式 農具に限る

Y. KINJO
CIRURGIÃO DENTISTA
Rua Vergueiro, 123
TELEPH. 7-3384 - S. PAULO

齒科醫
金城山戸
聖市 ヴェルゲイロ 一二三

院醫科齒藤伊
馬達藤伊
ソソイセソコ、ライグ
イグリビ

雇入れたし
コチア方面に於て
バタ、栽培希望者
獨身者でも家族者でも可
好條件にて御相談に應じ
ます
委細は本社に御問合せを乞
ふ

CLINICA DENTARIA
R. Conde Sarzedas, 9 - Tel. 2-3029

院醫科齒
郎一眞上村
九スダゼルサ・ヂ・デレコ 市電
番九二〇三二二話電
(ハ向助店商矢中)

“辯雄は實事”
迎歡察視御地實

土地を お求めに
なるなら
奥ソロカバナ線
インテアーナの土地
をお選みなさい

高くて優秀な健康地
驛に近くて交通至便
地價が安くて拂込容易
アナタの爲に
アナタの御家庭や
御子孫の爲に

理想的 永住地

我インデアナーナの土地を
御ス、メいたします

代理 人 長田茂八
Est. Indiana E. F. S.
聖市代理人 高山運平

CASA CRYSTAL
ALMEIDA BARROS & FILHO
Rua Olavo Bilac, 24 LINS

各種金物
一式、ガ
ラス、酒
戸物類、
具

望おのをも善てくすや
へ店當は方乃み

Casa Palma
ARAÇATUBA - E. F. N. B.

正直
薄利多賣
内外乾物、酒油類
一切、反物、出来
合服、クラック、
ファッション其他靴類
ファッション其他靴類
本店は當市でも舊
家で以前から日本
人諸氏の御恩負を
蒙つて居ります

大野鶴龜醸造所
並上等味噌
油醬等上

FABRICA DE MACARRÃO JAPONÊZ
SHIROMA & IRMÃO
Av. 13 de Maio, 67 LINS

所麵製本日
スリ
店商弟兄間城

United States Rubber Export Co. Ltd.
New York
Rio de Janeiro - São Paulo - Porto Alegre

現代の貨物自動車には
現代のタイヤを裝備せよ
O. U. S. Royal Cord Heavy Service

オー・ユー・エス・ローヤル・コード・ヘビーサー
ービスは何等の廣告、宣傳をも行はずして
堂々として市場に進出しました、これは偏へに
本タイヤの品質優良の致す所です
新型タイヤはより以上の耐久力を持つて居
ます、故に收穫期などに於ける過重荷物又
は多大の使用回数等にも絶対安全が保證さ
れタイヤの故障による事故等の患は完全
に除かれ、そして運搬費を最小限度に減
じます
本品は世界最大のゴム會社製品であります

DUARTE & SALERNO
RUA S. BENTO, 19
São Paulo
Caixa Postal. 2182
Telephone 2-6318

寫眞機
並に材料一切
直輸入商
最も信用出来る店

現像引延し並に修整
改正定價表御申下さい

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonês de maior circulação no Brasil

Anno XV

São Paulo — Quinta-feira, 21 de Novembro de 1929

Num. 651

Apezar dos esforços do governo, a lei de proibição sobre o exodo do ouro não será revogada até Junho de 1930

Não é prospera a sericicultura relativa ao outomno ultimo

O Governo Japonês teria vendido parte do stock official de arroz

Foram indeferidos mais de 460 requerimentos solicitando a auctorização para construir estradas de ferro particulares

A noticia da redução de vencimentos do funcionalismo foi recebida com hostilidades

Mais uma vez o caso do ouro japonês

TOKIO, Outubro de 1929 — Falava-se, não ha muito, que a lei que prohibe o exodo do nosso ouro seria revogada, impreterivelmente, até dezembro proximo, visto ter o actual governo empregado todos os esforços no sentido de evitar consequencias desastrosas que se poderão provir, conjecturas que temos, agora, de ver desfeitas, diante de uma informação que acabamos de divulgar numa das secretarias do ministerio da Fazenda. Segundo a mesma, os preparativos só serão terminados em fins de junho proximo, o que permite dizer que a revogação virá a ser um facto só nessa epoca.

A produção de casulos do ultimo periodo sericicola

TOKIO, Outubro de 1929 — Pelo boletim fornecido pelo ministerio da Agricultura e Floresta, verificamos que a produção de casulos do ultimo periodo sericicola perdeu a prosperidade que se esperava. Assim, foi de 17.940.800 kilos a produção de casulos brancos, e de 1.200.800 kilos, a de casulos "ouros", verificando-se um aumento insignificante de 6,5 %, em relação ao igual periodo do anno passado, o que não corresponde ao aumento do consumo de seda nos Estados Unidos. Nos meios entendidos acredita-se que para o anno p. vindouro venha ligeira crise de mercadoria desta especie.

A produção na Coréa teve aumento apreciavel

TOKIO, Outubro de 1929 — In-

formam de Seul que a produção de casulos de seda relativa ao ultimo periodo sericicola foi de 600.000, pelo que se verifica um augmento de mais de 30 % em relação ao igual periodo do anno passado.

A VENDA DA PARTE DO STOCK OFFICIAL DO ARROZ

TOKIO, Outubro de 1929 — Esteve reunido, em 9 do corrente, a comissão permanente de arroz e outros cereaes, do ministerio da Agricultura e Floresta, afim de resolver, attendendo á exiguidade do stock de arroz com que contam os nossos mercados de cereaes, sobre a venda da parte do stock official. É de 3.430.000 saccos o stock actual mantido pelo governo, do qual será destacada uma quota de 1.500.000 saccos para entrega immediata aos mercados consumidores.

O CASO DAS ESTRADAS PARTICULARES

TOKIO, Outubro de 1929 — O ministro das Estradas de Ferro acaba de indeferir todos os requerimentos solicitando a auctorização do governo para construção e exploração de estradas de ferro particulares em nosso territorio, em numero superior a 460. Justificando essa attitude, diz o referido titular, que a execução de taes planos teria como resultado concorrencias inuteis com as estradas officaes, que perderão por este motivo uma grande parte de suas rendas e, consequen-

DR. S. TAKAOKA
MEDICO - OPERADOR

Rua Fagundes, 8
Tel. 2-4180 S. PAULO

MATRIZ - RIO
Rua Theophilo Ottoni, 85
CASAS NO JAPÃO
NAGOYA, KOBE E YOKOHAMA

Endereço Telegraphico:
"HACHIYA"

Hachiya, Irmãos & Cia.

IMPORTADORES DE LOUÇAS, BRINQUEDOS, ARMARINHO E ARTIGOS JAPONEZES

R. Brigadeiro Tobias, 110
TELEPH. 4-7688

SÃO PAULO
CAIXA POSTAL, 2670

temente, a decadencia geral do serviço ferro-viario do Imperio. Entre os que foram indeferidos, existe uma que visa o encurtamento do percurso entre esta capital e Osaka, por meio de uma linha de ferro quasi recta, sobre a qual correrão trens electricos expressos, que farão esse percurso em seis horas, tres horas menos, portanto, do que o feito pela estrada official em um trem expresso-grande, que leva nove horas no minimo.

O governo resolve reduzir vencimentos do funcionalismo

TOKIO, Outubro de 1929 — Na reunião ministerial de 16 do corrente, o sr. Hamaguchi, primeiro ministro, submeteu aos votos de todos os ministros um projecto de redução de vencimentos do funcionalismo publico, que foi inconscientemente aprovado pelos seus membros. Segundo essa "nova" do "ministro parcimonico", o pri-

Dr. Vempei Kikuchi
MEDICO

REGISTRO - IQUAPE

meiro ministro terá seus vencimentos reduzidos, de 16 %; os ministros de Estado, de 8 %; os que percebem mais de 1.800 yens annuaes, de 8 %; de 1.600 yens, de 7 %; de 1.400 yens, de 6 %; 1.380 yens, de 4 %; sendo os vencimentos inferiores a 1.200 yens annuaes mantidos sem redução. As gratificações pro-labore, diplomaticas e consulares sofrerão também reduções. A redução entrará em vigor desde 1 de janeiro proximo.

Esta noticia foi recebida com hostilidade em todos os meios, sendo provavel uma reacção por parte do funcionalismo, contra tal acto governamental que só contribue para augmentar a miseria nos lares de uma classe tão numerosa.

PHOTO
OTTO STUDIO
TELEPHONE 2-5400
Rua da Liberdade, 70
SÃO PAULO

EDIÇÃO DE 8 PAGINAS

COMO DEVEM SER TRATADOS OS ESTRANGEIROS

Conferencia proferida pelo dr. Rangel Moreira, sob os auspicios do "Rotary Club" de S. Paulo e irradiada pela Radio Educadora Paulista.

(Continuação)
Julgo um defeito e não uma virtude essa hospitalidade excessiva, derramada, quasi sem distincção, que concedemos a todos quantos batem ás nossas portas. Isto revela aos meus olhos um grau de civilização inferior. Viajae um pouco, meus jovens amigos, percorrei cultos paizes do velho mundo, millenarias e brilhantes civilizações do oriente, compa-

rae ás nossas ás suas maneiras de hospitalidade, e vereis como somos profundamente exaggerados e ridiculos.

Abrimos com leviandade a nossa vida intima á analyse de quantos se approximam de nós.

Mostramos-lhe tudo, inclusive as nossas mazellas domesticas.

Já houve até um governante russo que não se pejou em submeter á critica de um grupo de financistas europeus a marcha dos negocios internos da republica e as falhas da sua organização fiscal.

Deixou que elles fizessem aqui o que fazem delegados de povos conquistadores em colonias que mal applicam o dinheiros das metropoles.

Uma fraqueza, uma falta de dignidade, que vos peço não pratiqueis jamais.

Não toleréis nunca que estrangeiro nenhum diga mal das coisas da vossa terra, dos habitos das vossas gentes, da natureza das vossas instituições.

Por mais legitimas e mais bem fundamentadas que sejam as vossas criticas á organização social do vosso paiz, ainda que vos assistam fortes razões de censura á sua palitica interna, jámais articuleis palavras contra esta ou aquella na presença de um homem, que tenha bandeira diferente da nos-

I. SHIOKAWA

UNICO IMPORTADOR DA PORCELLANA MARCA *Noritake*

SÃO PAULO
R. Brigadeiro Tobias, 96 e 96-B
TELEPHONE 4-8387
CAIXA POSTAL 1714
End. Tel. "ELNIPPON"

do Pernambuco reduzido á situação de um corpo exangue, coberto de moocardos, alistei-me no pequenino grupo de soldados d' "A Providencia", jornal que obedecia á orientação de Balthazar Pereira e de Manuel Caetano de Albuquerque Mello.

Alli, sob o estímulo paternal daquelles dois grandes homens de imprensa, lutei sem descanso durante quatro annos, e não vos minto dizendo-vos que muitas vezes assisti á debandada dos adversarios, sob a acção interrupta das minhas armas humildes.

(Continúa)

IMPRESSOS!!!

Nas officinas de "Nippak"

Louças, Artigos Japonezes e Nacionaes

K. NISHITANI

IMPORTADOR E EXPORTADOR

Rua Conceição, 88
End. Teleg. NISHITANI
Caixa do Correio, 1134
RIO DE JANEIRO

JAPONEZES NO JAPÃO NO BRASIL

Prof. BRUNO LOBO
15
O JAPONEZ E AS SUAS RELAÇÕES COM OS OUTROS POVOS

(Continuação)
E' talvez inutil declarar que as distincções internacionaes, de qualquer maneira e sobre assumpto, mesmo quando baseadas em simples razões economicas, são oppostas aos principios de Justiça e correção, de que dependem, em ultima analyse, as relações de amizade entre as nações.

A doutrina da igualdade de tratamento, que é agora universalmente reconhecida e encontrou o franco apoio dos Estados Unidos, deve a estes mesmos principios a sua razão de ser. Mais desagradaveis ainda são as discriminações que se baseiam nas raças.

Foi, evidentemente, a forte condemnação de tal pratica que inspirou o Governo Americano, em 1902, a denunciar o tratado commercial que existia entre os Estados Unidos e a Russia, em consequencia da resolução do Congresso, 13 de dezembro de 1911, em signal de protesto contra o tratamento desigual e pouco apreciavel feito na Russia aos estrangeiros de uma certa raça. Acresce que a distincção de tal genero está expressa na nova legislação dos Estados Unidos.

A lei de immigração de 1924, considerada á luz das interpretações que o Supremo Tribunal deu ás leis de naturalização, estabelece claramente a regra segundo a qual a admissão de estrangeiros, nos Estados Unidos, é baseada, não nos meritos, ou na qualificação individual, mas, sim, na divisão das raças a que pertencem os candidatos á naturalização.

Parece que tal distincção de raça da lei de 1924 é manobrada essencialmente contra os japonezes, uma vez que pessoas de outras raças, também asiaticas, são comprehendidas em leis separadas de datas anteriores, segundo demonstrava o Secretario de Estado na carta de 8 de fevereiro de 1924, que foi publicada, dirigida ao Presidente da Comissão de Immigração e Naturalização no Congresso.

Em defeza dessas medidas de distincção adoptadas pelos Estados Unidos, foi asseverado repetidamente que as pessoas da raça japoneza não são assimilaveis á vida e aos ideaes norte-americanos.

No entanto, ha de ser observado, em primeiro lugar, que não se póde esperar que muitos immigrants de uma outra raça possam ser assimilados pelos seus novos meios no decurso de uma unica geração.

A historia da immigração japoneza nos Estados Unidos, em numero já apreciavel, data apenas dos ultimos annos do seculo XIX. Este periodo é por demais limitado para permitir que se faça qualquer julgamento definitivo acerca das adaptabilidades raciaes daquelles immigrants em materia de assimilação, comparadas com as dos colonizadores alienigenas das raças classificadas como elegiveis relativamente á cidadania americana.

Deveria ainda ser observado que o processo de assimilação póde desenvolver-se exclusivamente numa atmosfera de tratamento justo e equitativo. Este sentimento, ao contrario, é embaraçado debaixo de uma tal pressão de distincção odioso, como aquella a que têm sido sujeitos os japonezes residentes em alguns Estados da União Americana, na lei e na pratica, durante cerca de 20 annos.

Parece bastante difficil fundir elementos estrangeiros numa comunidade, quando a mesma prefere conservar os segregados do resto dos seus membros. Por estes motivos, as asserções sobre a não assimilabilidade dos japonezes parecem ser pelo menos prematuras, se não fundamentalmente injustas.

A proposito do exame dos tratados de commercio entre o Japão e os Estados Unidos, art. n. 11 do ajuste de 1894 continha a clausula seguinte:

"Fica, porém entendido que as estipulações, comprehendidas neste artigo e no precedente, não affectam de modo nenhum as leis, as ordenações e os regulamentos relativos ao commercio, á immigração de trabalhadores, á policia e segurança publica, que se achavam em vigor ou ainda virão a ser decretados em qualquer das duas nações." Quando o accôrdo foi modificado, 1911, esta clausula provisoria foi retirada do que o substituiu, a pedido do Governo Japonês, que adaptou a regra geral que assegura a liberdade de entrada, de locomoção e de residencia, fazendo ao mesmo tempo o Governo Japonês a seguinte declaração, datada de 21 de fevereiro de 1911, que figura como parte integrante do tratado: "Procedendo nesta data á assignatura do tratado de commercio e navegação entre o Japão e os Estados Unidos o Embaixador Japonês em Washington, devidamente autorizado pelo seu governo, tem a honra de declarar que o Governo Imperial do Japão se acha plenamente preparado para manter com igual effectividade a limitação e fiscalização que exerceu durante os ultimos 10 anno, no sentido de regulamentar a immigração de trabalhadores para os Estados Unidos." Procedendo á troca de ratificações do dito tratado, Secretario de Estado em exercicio communicou ao Embaixador Japonês em 25 de fevereiro de 1911, que o conselho e o consentimento do Senado para as ratificações do tratado eram feitos sob a condição de que deviam fazer parte do instrumento de ratificação, e que o tratado não devia ser considerado como repellido ou affectando quaesquer disposições da lei do Congresso, chamada lei para regular a immigração de estrangeiros nos Estados Unidos, que foi approvada em 20 de fevereiro de 1907. O Secretario de Estado em exercicio, addicionou então: "Tanto mais que esse acto se applica á immigração de estrangeiros de todos os paizes nos Estados Unidos e não faz discriminação em favor de paz algum. Não é de suppôr que o Governo de V. Ex. terá qualquer objecção a que o entendimento seja registrado ou comprehendido no instrumento de ratificação."

A exposição precedente demonstra que, durante estas negociações, uma das principaes preocupações do Governo Japonês foi a de proteger os seus subditos da discriminação feita na legislação immigratória dos Estados Unidos, e tal acção da parte do Japão foi completamente comprehendida e apreciada pelo Governo Americano, além de que foi ainda com estas considerações em vista que o tratado existente foi então assignado e teve logar a troca de ratificações. Nestas condições, embora reservando para uma outra oportunidade a apresentação dessa questão de technica legal para verificar até que limite as intenções da clausula 13 C da lei de immigração de 1924 são inconsistentes com os termos do tratado de 1911, — o Governo Japonês deseja salientar agora que a nova legislação está em completa desconsideração com o espirito e as circunstancias comprehendidos nas conclusões do tratado, relativamente ao tratado conhecido por "gentlemen agreement". Ha de ser lembrado que se tinha em vista, de um lado attender aos sérios requisitos da situação,

(Continúa)

NIPPAK SHIMBUN

Propriedade e direcção de:
SACK MIURA
Redactor:
Jorge T. Midorikawa

Redacção, Administração e Officinas
Rua da Liberdade, 146
Caixa Postal, 375
Telephone, 2-3926
Endereço Telegraphico "NIPPAK"
SÃO PAULO - BRASIL

ASSIGNATURAS
Para o Brasil:
Por anno 30\$000
Por semestre 16\$000
Numero avulso \$500
Para o Exterior:
Por anno 60\$000

ANNUNCIOS
Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha. Telephone 2-3926